県広報 とやま

vol.427 2008.4

平成20年3月31日発行
企画・発行／富山県知事政策室広報課
富山市新総曲輪1丁目7番地
TEL.076-431-3131（県民相談電話）
FAX.076-444-3300（県民相談ファックス）
編集協力／株式会社 チューエツ

○「県広報とやま」に関するご連絡、ご質問は
〒930-8501（住所記入不要）県庁広報課あて
TEL 076-444-3134　FAX 076-444-3478
E-mailは次のアドレスのフォームよりお送りください。
http: //www.pref.toyama.jp/form.html
広報課ホームページ
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1001/index.html

「県広報とやま」は、4・6・8・10・1月（年5回）発行で新聞折込みにより各家庭にお届けします。また、県の各施設や市町村役場、図書館、文化ホールなどでも配布しているほか、本号とバックナンバーは、県庁広報課のホームページで閲覧できます。

contents

特集 平成20年度 県予算……②
クローズアップとやま 飛越地震から150年……⑥
とやま未来遺産 歴史といやしの水辺空間、富岩運河……①
とやま目安箱……①
県政の動き……⑦
テレビ・ラジオ・新聞チェックガイド 県政番組のお知らせ……⑦
とやまのごっつぉ 彩り大福……⑦
県政クイズ……⑦
どこ行く？何する？お出かけ情報……⑧

富山の近代化を支えた富岩運河

次代につなぐ とやま未来遺産 vol.4

歴史といやしの水辺空間、富岩（ふがん）運河（富山市）

運河沿いの遊歩道は絶好の散策コース

中島閘門は富山県が誇る貴重な近代化遺産

富岩運河全景

物流を支えた水路から水辺のオアシスへ

富岩運河は富山県初の都市計画事業として、昭和10年に完成。東岩瀬港南端と富山駅北側をつなぐ約5kmの水路が開かれました。運河のほぼ中間地点には2.5mの水位差を二対の扉で調整するパナマ運河方式の中島閘門（こうもん）（国指定重要文化財）があります。この閘門は沿岸の工場に原料を運ぶ船（200t級）の往来を助け、沿岸の工業地帯形成にも大きく貢献しました。

時代の流れで、一時は消滅の危機を迎えた富岩運河ですが、現在、運河沿いにはプロムナードが整備され、かつての舟だまりだった富山駅北側は富岩運河環水公園として生まれ変わりました。

平成16年8月には運河周辺校下7地域の自治振興会を中心とする「運河のまちを愛する会」が発足。運河まつりの開催や絵画コンクール、バードウォッチングを通して運河のアピールや利活用に取り組むなど、賑わいの創出をめざした積極的な活動が行われています。

運河のまちを愛する会

会長　竹内　茂さん（富山市）

富岩運河は歴史的・文化的な「富山の宝」。環水公園の西側から仰ぎ見る立山連峰、運河沿いを散策する爽快感、歴史ある中島閘門など、さまざまな魅力が味わえます。「まだ行ったことがない」という方は、ぜひ足を運んでみてください。

とやま未来遺産のお問い合せは　県庁知事政策室 地域振興課　TEL076-444-3949　http://miraiisan.pref.toyama.lg.jp

とやま目安箱

知事がお答えします！

Q 先日、無農薬にこだわる農家の方の話を聞く機会があり、感心しました。消費者として、このような農家に期待するところが大きいのですが、県の取組みを教えてください。

A 食の安全や環境問題に対する社会的関心が高まる中で、化学肥料や農薬使用の低減など「環境にやさしい農業」の取組みを進めることが重要であると考えています。

このため、県では、

①堆肥など有機物資源のリサイクル利用などにより、元気な土づくりを推進すること

②緩やかに効果が発現する肥料（緩効性肥料）の活用や、作物の株元に肥料を与える方法（局所施肥）により、化学肥料を少なくすること

③病気にかかりにくい品種を利用するなど、病気が発生しにくい状況での栽培や、太陽熱や微生物などの自然の力を活用した病害虫防除などにより、化学農薬を少なくすること

など、環境にやさしい農業の普及に取り組んでいるところです。

今後も、こうした取組みを一層促進し、地域ぐるみで環境にやさしい農業が進められるよう、支援していきたいと考えています。

この件のお問い合せは
県庁農産食品課
TEL　076-444-3283

皆さんのご意見をお待ちしています。
「とやま目安箱（知事への意見・提言）」係まで
◎はがき・手紙　〒930-8501県庁広報課
◎FAX　076-444-3478
◎インターネット
http://www.pref.toyama.jp/form.html

特集 「元気満載（まんさい）」の平成20年度 県予算

皆さんの声をしっかりと反映させ、「元気とやま」の創造を加速します。

平成20年度の県予算の特徴をひと言で表現すると、財政再建に留意しつつ、「元気とやまの創造」を加速する予算。予算規模は、前年度比0・6％減の5263億6800万円と減少しましたが、産業振興、子育て、教育、福祉・医療、社会資本整備などの政策経費は、タウンミーティングなどで寄せられた県民の皆さんの意見をしっかりと反映させ、前年度比30億円、1・2％増となっています。平成20年度は、この予算のもと、「元気とやま創造計画」に盛り込まれた55の政策目標を着実に推進し、富山県の新たな未来を切り拓いていきます。

おしえて！

財政再建にどう取り組む？

富山県の財政は、国の地方交付税の削減や福祉、医療費、公債費等の増大により、平成16年11月の時点で約400億円の財源不足があり、危機的な状況にありました。このため、平成17年度から徹底した行財政改革に取り組み、平成20年度予算では、構造的な財源不足を140億円まで縮小させることができました。これまでの行財政改革の取組みが一定の成果をあげたといえます。また、本県などの働きかけにより、東京などと地方との税収格差の是正と4年間続いた地方交付税削減の流れに歯止めをかけたことなどから、財政再建への道筋をより明確にすることができました。

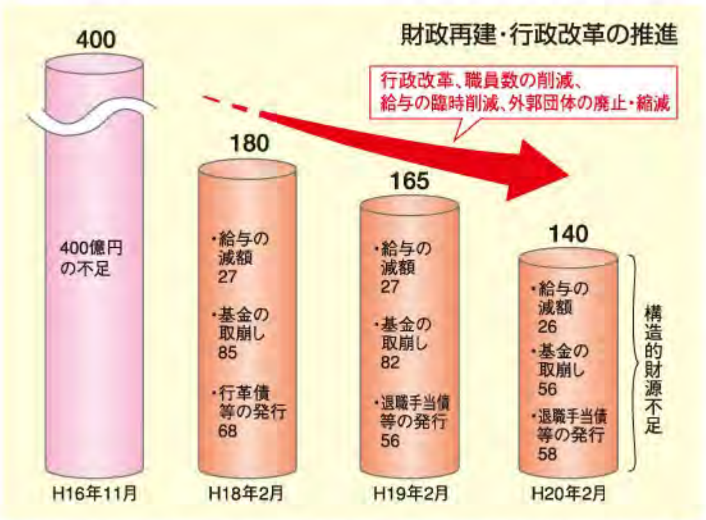
ポイント① 県民の要望を盛り込んだ「元気とやま創造戦略枠」

少子高齢化・人口減少、グローバル化、情報化の進展など、私たちの暮らしを取り巻く環境は大きく変化しています。県ではこうした変化を踏まえ、中長期の広い視野に立って県政運営を行うため、「元気とやま創造計画」を策定しています。この計画では、「元気とやま」の実現に向けて、新産業の創出、企業立地の促進、農林水産業の振興、観光の振興、中心市街地の活性化、子育て支援、教育文化の振興、医療・福祉の充実、安全なまちづくりなど、55の政策目標を掲げています。前年度に続き、平成20年度予算では、財政再建に留意しつつも、これまで以上に「元気とやま」の創造に軸足をおき、各般の取組みを一層加速させることとしました。

特に今年度は、予算編成作業が本格化する前に重要施策の方向性を協議する「オータム・レビュー」を試行的に導入しました。これにより、県民の皆さんからの要望の強い事業や緊要性の高い事業の予算化に向けた議論を十分行うことができ、この成果を「元気とやま創造戦略枠」（20億円）にしっかりと盛り込んでいます。

ポイント② 対話を重視しながら、県民の声に応える県政へ

今後とも、タウンミーティングや中小企業との対話など、県民の皆さんとの対話を重視しながら、県民ニーズに即した政策を戦略的に展開し、県民の皆さんの幸せの充実と県勢の発展をめざしていきます。



「財政再建」に留意しつつ、「元気とやま」の創造を加速する予算

予算総額　5,263億6800万円

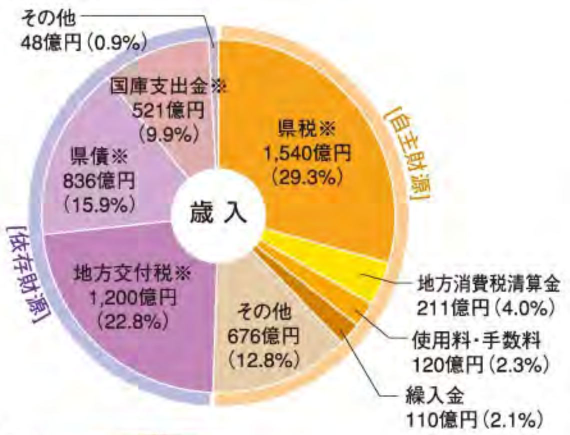
「元気とやま」の創造
政策経費　2,541億円　+1.2%
（産業振興、子育て、教育、福祉・医療、公共・主要県単）

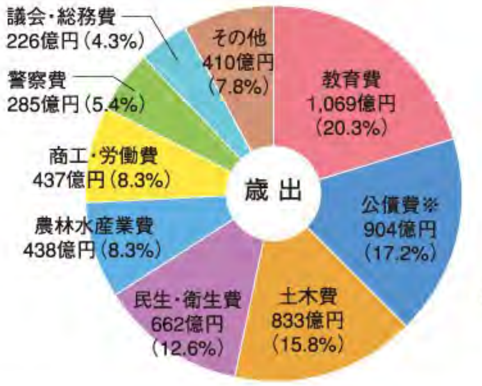
○元気とやま創造戦略枠・・・・20億円
○水と緑の森づくり枠・・・・・・3.5億円
○県の発展基盤となる社会資本整備の推進・・1,035億円

財政再建の推進
人件費　1,483億円　△2.0%
公債費　904億円　△0.4%

【行政財政改革により財源不足を着実に圧縮】
○地方税の偏在是正・地方交付税等の確保
○行政改革による人件費の削減
○公債費負担の低減（2年連続で抑制）
○建設事業に充てる通常債残高の抑制

●平成20年度 県予算





※億単位未満を四捨五入しているため、各金額の合計は予算総額と一致しない。

●平成20年度に取り組む主な行政改革

❶簡素効率化と新たな政策課題に対応する組織改革
- 「観光・地域振興局」の設置
- 危機管理体制の強化のため、「消防課」と「防災・危機管理課」の二課体制に
- 中央病院のがん診療体制の強化のため、「外来化学療法科」の設置、研修医の指導体制・看護体制の強化
- 黒部学園・砺波学園の指導体制の充実、農業普及指導センター・農地林務事務所の統合（「農林振興センター」の設置）、農林水産関係4試験研究機関の統合（「農林水産総合技術センター」の設置）
- 共通事務効率化の実施に伴う出先機関の人員体制の見直し

❷人件費の抑制
- 平成20年4月までの4年間で一般行政部門の1割削減（444人）を実現
- 職員等の給与を平成20年度から3年間減額
  本庁及び富山市内の出先:知事18%、副知事等13%、管理職7～6%、一般職4%
  （地域手当の3%の凍結分を含む）
  その他の出先:管理職4～3%、一般職1%

❸公の施設の見直し
- ITセンター情報工房など4施設を平成20年3月末で廃止
- 桂湖野外活動施設を4月に南砺市へ移管
- 立山荘に4月から民間ノウハウの活用のため、指定管理者制度を導入

❹外郭団体の見直し
- 富山県住宅供給公社を平成21年3月末を目途に廃止

❺事業の点検・見直し
- 438件の事業を見直し、約14億5,700万円を節減
- 業務改革の推進、ITの活用、県民の利便性の向上、民間委託の推進

❻職員の能力・資質向上と意識改革
- 民間トップによる講話や座談会の開催、県民奉仕の精神の涵養のための研修の実施

☆今後の推進体制
- 行政改革の取組状況を厳正に点検し、フォローアップ等を行う第三者機関の設置

用語解説

※**県税**・・・県民税や事業税など、県が徴収する税金。
※**地方交付税**・・・どこの地域においても標準的な行政サービスを提供するために必要な税金等が不足している地方公共団体に対して、国から交付されるお金。地方公共団体が使い道を決めることができる。
※**県債**・・・道路や学校など長期間利用する公共施設の整備のために、県が借り入れるお金で、将来利用する住民にも費用を負担してもらうもの（通常債）。これ以外に、地方交付税の財源が不足しているために、県がお金を借り入れる臨時財政対策債などがある（特例債）。
※**国庫支出金**・・・国が使用目的を特定して交付するお金で、国庫補助金・負担金などがある。
※**公債費**・・・県債の返済に使うお金。

このページのお問い合せは　県庁財政課　TEL076-444-3167
http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1105/index.html

「元気とやま」実現に向けた 主な取組み

「活力」「未来」「安心」を柱に「元気とやま」の創造をめざします。

「活力」とやま

勤勉で進取の気性に富む人材、恵まれた交通・情報通信基盤、産業集積などを活かし、創意工夫、意欲ある取組みが展開されている、活力あふれる県づくりを進めます。

●経済・産業の振興

■新産業創出、起業支援

・「とやま医薬バイオクラスター事業」のさらなる発展に向けた産学官共同の研究を進め、第Ⅱ期知的クラスター創成事業の採択をめざす

・日中韓のロボット研究者による国内初の交流ワークショップの開催を支援

産業用ロボット

・「とやま起業未来塾」での人材育成と、ベンチャー企業が開発した新商品等の販路開拓を支援

・スイス・バーゼルとの製剤技術等の交流を促進するとともに、製薬企業等の基盤強化を支援する融資制度を創設

■企業立地の促進、中小企業の振興

・大都市圏において企業立地セミナーを開催

・中京圏の企業を招き、本県の優れた立地環境をPR

・中小企業への円滑な資金供給を図るため、事業承継支援資金の創設や緊急経営改善資金の取扱期間の延長を実施

・専門家を活用し、地域資源を活かした中小企業の商品開発等の取組みを支援

・北東アジア地域とのビジネス交流の拡大を促進する展示商談会「NEAR(ニア) 2008 in とやま」を開催

●農林水産業の振興

・富山米のブランド力向上のため、土づくりや「てんたかく」「てんこもり」の作付け拡大を支援

「てんこもり」試食

・大豆の収量や品質の向上を図る取組みを支援

・米価下落等による農業者の一時的な資金需要に対する緊急措置として、農業経営安定資金に無利子の特別融資枠を設定

・認定農業者等が経営理念やマーケティング等について学ぶ農業ニューリーダー育成講座に「集落営農コース」を新設

・起業や事業拡大に取り組む「がんばる女性農業者」組織を支援

・農林水産業に従事する若い担い手を顕彰する「元気とやま農林水産奨励賞」を創設

・本年秋に「全国グリーン・ツーリズムネットワーク富山大会」を開催

・クマ対策等にも効果のある牛の放牧帯「カウベルト」の設置地区を拡大

・耕作放棄地について、全県的な協議会を設置するとともに、その復元と活用を図る取組みを支援

・県産材の低コストな生産・流通を図る取組みや間伐材の搬出に助成

・間伐材を利用した高カロリー燃料の開発研究を推進

・水橋漁港の荷さばき施設の整備を支援

・漁業担い手確保のため、漁業体験講座に加え、新たに中期研修(5日間)を実施

●観光の振興

・首都圏や中京圏における大規模広告(JR山手線車体広告など)、大手旅行雑誌と連携したPRを実施

JR山手線車体広告

・観光ホームページを全面リニューアルし、観光情報を効果的に、より魅力的に発信

・滞在・体験型観光のモデル的な取組みや産業観光の受入れ態勢づくりを支援

・コンベンション参加者の観光タクシー利用に対する助成を試行的に実施

・東海北陸自動車道の全線開通を契機に、岐阜県との広域連携や中京圏等での観光PRを強化

・台湾で初めて観光物産展「とやまフェスタ」を開催し、観光客の誘致や県産品の販路拡大を促進

●富山のブランド力アップ

・県産品の情報発信と販売力の強化を図るため、「越中とやま食の王国」ホームページを開設

・首都圏や中京圏のショッピングセンターなどでの県産品販売店舗数の拡充や、大手ビール会社と連携したイベントの開催により、本県の食の魅力を県内外に発信

・団体商標「富山のくすり」を全国にPRする取組みを支援

●交通・物流ネットワークの整備

・北陸新幹線の建設促進、早期の全線整備、地方負担の軽減等に向けた関係機関への働きかけ

建設が進む北陸新幹線(富山市小西高架橋)

・北陸新幹線新駅へのアクセス道路や合併支援道路等を積極的に整備

・伏木富山港の航路拡充やコンテナ貨物の集荷の促進のため、国内外でのポートセールスを積極的に展開

●活力あるまちづくり

・富山市、高岡市の中心市街地活性化基本計画が着実に推進されるよう、調査研究や計画推進のための取組み、市街地再開発事業を支援

グランドプラザ(富山市)

・商店街の魅力や集客力向上のために「がんばる商店街」や、グループによる意欲的な取組みを支援

・富岩運河環水公園で四季を通じた多彩なイベントを開催

「みんなで創ろう！人が輝く元気とやま」

「未来」とやま

明日を担う人材が健やかに育まれ、多彩な県民活動、美しい県土づくりが進められている、未来への希望に満ちた県づくりを進めます。

●子育て支援

■家庭、地域の子育て支援

・保育サービス等の利用促進と子育て家庭の負担軽減を図るため、子どもが生まれた家庭に保育サービス等の利用券を配布

・病児・病後児保育等の特別保育、放課後児童クラブや地域子育て支援センターを拡充

とやまっ子さんさん広場

・保育に特別な配慮が必要な児童の保育を支援するモデル事業を実施

・児童虐待等に対応するため、児童相談所の相談体制を充実強化

・県内プロスポーツチームと連携し、とやま子育て応援団制度を広く周知

・県有施設に妊婦やベビーカー使用者のための駐車スペースを整備

■仕事と子育ての両立支援

・仕事と子育て両立支援推進員により、中小企業の取組みに対する働きかけを強化

・結婚や出産後の女性の再就職等を支援する合同企業面接会を開催

■明日を担う世代の育成

・結婚を希望する男女の健全な出会いを支援するサポーター制度を拡充

・子どもたちの自然体験を充実させるため、公民館を中心とした小中学生の自然体験活動を推進

●教育の充実

・明日のとやまの教育のあり方について、県民や有識者の意見を聴き、検討する懇話会を開催

・県立学校の教育振興を図るための基本計画に基づき、生徒の学習環境の整備等を推進

・科学教育やものづくり教育など、各県立学校が教育目標を定めて取り組む実践的な活動を支援

・教育活動の充実や教員の資質向上等を図るため、「明日のとやま教育創造基金」を創設

・中学校1年生にきめ細かな学習指導や生活指導を行うため、少人数指導を充実

・小学校高学年などに対する理科や体育等の専科指導を導入

・小中学校に在籍する発達障害のある児童生徒への対応を充実

小学校の授業風景

・新たに小学校へスクールカウンセラーを配置するほか、インターネットのいじめに対応する研修会を行うなど、いじめ問題に総合的に対応

・全国学力・学習状況調査等を総合的に分析し、学校や授業を改善

・小中学生の家庭学習の習慣づけを推進

・県立学校施設の耐震補強工事を計画的に推進

・県立大学に4年制の環境系新学科を開設（平成21年4月）するため、施設改修等を実施

●多彩な県民活動の推進

■男女共同参画の推進

・働く女性の幅広い交流活動に対して助成するなど、女性のチャレンジを支援

・本年秋の開所に向けて女性相談センターの移転改築を推進

・配偶者等からの暴力（DV）を防止するための基本計画を見直し

■人材の育成と確保

・ものづくり技能の継承を支援するため、高校生向けの「技能塾」、企業の若手や中堅の技能者向けの「技能継承塾」を拡充

とやま技能継承塾

・東京などで実施する学生向けのUターンセミナーを拡充

・首都圏等の大学を訪問し、県内企業の魅力等をPR

・県内高校の同窓会の協力を得て、働き盛り世代のUターンを促進

・県内大学生の県内就職を促進するための学内セミナーを開催

●芸術文化の振興

・7月～8月に開催される「第1回とやま世界こども舞台芸術祭」を支援し、子どもたちの国際的な文化交流を推進

・利賀芸術公園において、利賀フェスティバルの開催、舞台芸術の人材育成事業やロシア、韓国との国際共同制作事業を実施

・本県の文芸振興を図るため、ふるさと文学魅力推進検討委員会（仮称）を設置

・近代美術館において、展示作品をわかりやすく紹介するため、多言語に対応した音声ガイドを導入

●魅力ある地域づくり

■交流人口の拡大、定住・半定住の促進等

・首都圏等における相談体制の充実、各種セミナーを開催

・とやま夏期大学の開催や、とやま室内楽フェスティバルを支援

■世界文化遺産への登録推進

・近世高岡の文化遺産群および立山・黒部の世界文化遺産への登録に向けて、国重要文化財指定に向けた調査、民間団体の自主的な取組みを支援

■景観づくり

・屋外広告物に対する県民等の意識向上を図るコンクールや、許可基準の見直しに向けた調査を実施

・水辺を活かしたまちづくりを進めるモデル地域において、地元市や住民等と計画を策定

■森づくり

・カシノナガキクイムシの被害木の除去など、里山林の整備を推進

・県民参加による県産広葉樹の苗の育成や風雪被害林への誘導など混交林の整備を推進

・とやまの森づくりサポートセンターを通じて森林ボランティアを支援

・出前講座や森林教室により森づくりの普及啓発を推進

森林ボランティアの活動

「元気とやま」実現に向けた 主な取組み

県民の皆さん一人ひとりが、主役です。

「安心」とやま

豊かな自然や生活環境を活かし、住み慣れた地域の中で、健康で快適に、安全で安心して暮らせる県づくりを進めます。

●医療の充実

■医療の充実

・地域の医療連携体制を構築するため、急性期から在宅までの一連の診療計画を作成する取組みを支援

・がん診療連携拠点病院の運営や機能強化に対して助成

・県立中央病院の新しい精神科病棟の基本計画、がんの放射線治療を行うリニアックの追加整備を実施

県立中央病院に追加整備されるリニアック

■医師・看護師の確保

・富山型研修医総合確保対策として、新たに初期臨床研修医の受入れ態勢を充実させるモデル事業を実施

・県内の勤務医を確保するため、医学生等修学資金貸与制度を拡充

・看護学生のUターンを促進するため、病院見学会・交流会を実施

・総合衛生学院の改修工事を推進（平成21年4月供用）

■その他医療

・4月から開始される後期高齢者医療の安定的な財政運営を支援

●健康づくり

■健康づくり

・メタボリックシンドロームの防止を図るため、県民歩こう運動や食生活の改善に向けた取組みを推進

・自殺の原因分析や、うつ病を克服するための普及啓発などにより、総合的な自殺防止対策を実施

■食の安全と食育の推進

・食品の安全に対する県民の不安を解消するため、食中毒や残留農薬の検査体制等を強化

・BSE対策として、出荷牛の全頭検査を引き続き実施

・食育を推進するため、富山型食生活の普及や、小中学生に対する食育・健康教育を推進

地場産ふれあい給食

■スポーツの振興

・8月に開催される全国中学校体育大会の運営を支援

・子どものウォーキングイベントや体力向上推進フォーラムを開催

・カターレ富山のホームスタジアムとなる県総合運動公園陸上競技場を改修

・本県のプロスポーツチームが企画する応援バスの運行に助成し、集客を支援

●福祉の充実

■地域総合福祉の推進

・福祉・介護サービス分野の人材を確保するための対策会議の設置や、高校生向けガイダンス、若手介護職員の離職防止対策等を実施

・地域ぐるみで高齢者や障害者等を支えるケアネット活動の実施地区を拡充

・富山型デイサービス施設の整備を支援

富山型デイサービス施設

■高齢者福祉の充実

・高齢者保健福祉計画および介護保険事業支援計画を見直し

・在宅医療と訪問看護について、推進会議の設置、療養通所介護施設等の整備支援などを総合的に推進

・療養病床の再編成に伴い、医療療養病床から老人保健施設等に転換するための整備を支援

■障害者福祉の充実

・障害者計画および障害福祉計画を改定

・介護や生活訓練等のサービス提供施設の整備、障害者の地域生活への移行や就労等を支援

・新たに精神障害者のグループホームなどの整備を支援

●豊かで快適な環境の保全

■自然環境の保全

・立山自然保護センターの展示施設機能の拡充

・有害鳥獣（カモシカ等）被害対策の拡充

■生活環境の保全

・幼児等を対象としたエコライフ教室や、エコドライブ運動を実施

■循環型・脱温暖化社会の構築

・4月に実施されるレジ袋の無料配布取り止めにあわせてマイバッグ・デザインコンテスト等を実施

マイバッグポスター

・エコドライブ県民運動の推進

・農業用水「仁右ヱ門用水」を利用した小水力発電施設の整備に着手

■国際環境協力の推進

・昨年12月の北東アジア環境パートナーズフォーラムにおいて採択された「とやま宣言」に基づき、黄砂の広域モニタリング体制の構築など

■水資源の保全と活用

・10月に開催される国際水文地質学会で、本県の優れた地下水保全や立山砂防の魅力を国内外に情報発信

●生活交通の確保

・JR西日本から経営分離される北陸本線の運行計画や運行に必要な施設設備等の調査検討、新駅設置のガイドラインの策定、利用促進方策を調査検討

・交通ICカードシステムの導入に向け、関係機関との検討を実施

●防災・危機管理

・消防学校・防災拠点施設の整備に向けて基本設計を実施

・広域消防運営計画の作成に向けた市町村の取組みを支援

・県地域防災計画に新たに盛り込まれる原子力災害対策の県民への普及啓発を実施

●安全なまちづくり等

・地区安全なまちづくり推進センターなどと連携し、カギかけ防犯キャンペーンを展開

・平成21年4月の開署に向け、富山西警察署（仮称）の建設工事を推進

・駐在所の改築整備や交番相談員の増員により、警察力を充実

・交通の円滑化を図るため、交通管制センターシステムを更新

・運転免許証をICカード化

・国の見解を踏まえて、市街化調整区域内に設置されているユニットハウスなどの詳細調査、都市計画法等に基づく必要な是正指導を実施

クローズアップとやま

防災について、考えてみませんか。

～災害の歴史を学び、教訓を今に活かす～

飛越地震から150年

神通川水系芋谷川の土石流災害（H16.10）

江戸時代末期、安政5年の飛越地震は、常願寺川を「暴れ川」に変えるなど、富山平野に想像を絶する被害をもたらしました。今年は地震発生から150年。皆さんもこれを期に災害の歴史を振り返り、防災について改めて考えてみませんか。

富山平野を守るため、今なお砂防工事が続けられている「立山カルデラ」。今も飛越地震により崩れた土砂が堆積している。
（写真提供：国土交通省立山砂防事務所）

ポイント① 県史に残る大災害を振り返ってみよう！

安政5年（1858年）2月26日、跡津川断層を震源に発生した飛越地震（推定マグニチュード7・1）は、富山県、岐阜県に甚大な被害を及ぼしました。この地震で、常願寺川の源流部にある鳶山が大崩壊。その後2度にわたる天然ダムの決壊により発生した大土石流は、地響きを立てて下流の富山平野を襲い、多くの人命と財産を奪いました。その時の被害の爪跡は、大転石として常願寺川流域の各地に見られます。

以来、常願寺川は手のつけられない「暴れ川」に姿を変え、多くの水害を引き起こしてきましたが、先人の英知と努力による砂防や河川などの治山・治水事業によって、現在の安全で豊かな富山平野が築かれています。

常願寺川流域の大場の大転石
2度の土石流により運ばれた大転石は、大きいものだけでも41個。

ポイント② 災害に備える準備と普段からの心構えを

近年、全国的には記録的な集中豪雨や土砂災害が多発しています。特に、隣県で立て続けに発生した中越地震、能登半島地震、中越沖地震による災害は記憶に新しいところです。しかし、富山県では安政の大地震以来、大きな災害を経験しておらず、県民の皆さんの災害に対する認識が低い状況にあります。

防災体制の整備を図るには、防災意識の向上が大きな課題になります。過去の大災害の歴史を振り返り、教訓として現代に活かすこと、また普段からの心構えと災害に備える準備が大切です。

このため、飛越地震から150年目にあたる平成20年に関係機関と連携し、地震への備えや防災対策の周知など、県民の皆さんの防災意識の向上を図るための普及・啓発活動を広く展開します。

●「飛越地震から150年」イベント案内

	啓発活動の内容	時期
知っておこう	・飛越地震特別番組の放映 「こんにちは富山県です」（北日本放送） 飛越地震および土石流災害の歴史を振り返り、日頃からの防災対策の必要性を呼びかけ	4/12(土)、4/19(土)
参加しよう	・飛越地震発生源探検ツアー 飛越地震の震源の跡津川断層や立山カルデラ内の砂防施設などを見学	8月～9月（予定）
	・被災地体験・親子ウォッチング 大場の大転石やいたち川の石地蔵と水神社などの150年前の災害にまつわる史跡を見学	8/6(水)
	・防災訓練・避難体験 常願寺川上流域での大規模土砂崩壊を想定した、国、県、市町村等の合同による総合的な防災訓練を実施	6/1(日)
行ってみよう	・安政の飛越地震150年シンポジウム 飛越地震による災害の歴史を振り返り、県民皆さんの防災意識の向上を図るシンポジウムを開催	8/28(木)
	・立山カルデラ砂防博物館10周年記念企画展 10年間の研究成果による記念企画展を実施	4月～9月（予定）
	・常願寺川・防災フェスタ 本宮砂防えん堤の水辺の楽校にて、砂防事業のPRと防災意識の向上を図るイベントを開催	7月～8月（予定）

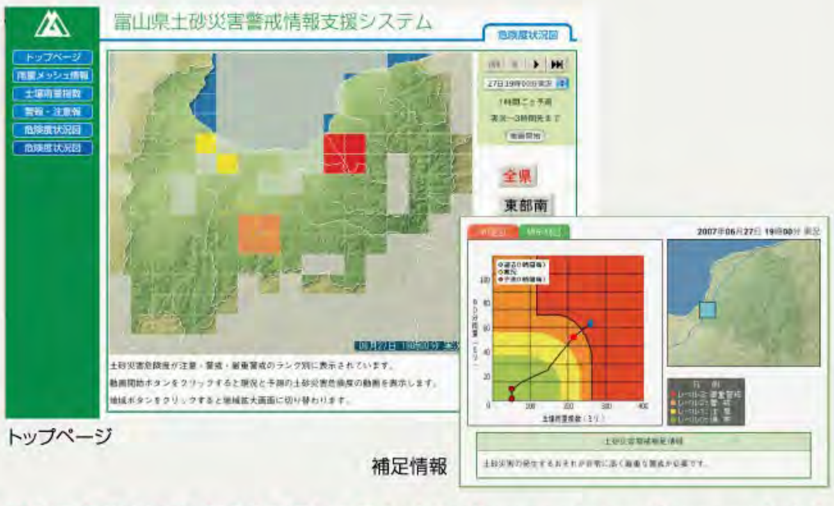
「土砂災害警戒情報支援システム」のお知らせ

土砂災害警戒情報は、土砂災害による被害の防止、軽減を図るため、大雨警報が発表されているなかで、大雨によってさらに土砂災害の危険性が高まった時に、富山県と富山地方気象台が昨年9月末から共同で発表することとなった新しい防災情報です。

この情報は、市町村長が避難勧告等を発令する際の判断や住民の自主避難の参考となるよう富山地方気象台から富山県を通じて市町村に伝達するとともに、報道機関を通じて県民の皆さんにお知らせします。

また、今年6月からは、市町村単位で発表される土砂災害警戒情報を補うため、県内を5km四方に区切った地図上に色で危険の度合いを表した補足情報をインターネットで提供します。

県民の皆さんには、土砂災害警戒情報を活用して避難場所や避難路を確認するなど、日頃から十分に備えるとともに、災害時には早めの避難を心がけてください。



トップページ
補足情報

富山県土砂災害警戒情報支援システム　http://www.sabo.pref.toyama.lg.jp/

●インタビュー

「もうひとつの立山」について考える契機に

（立山カルデラ砂防博物館　学芸課長　飯田　肇）

今年は、飛越地震から150年の節目の年にあたります。

また、富山県の世界文化遺産登録への提案でも、立山カルデラの特異な自然と、そこで100年にわたり行われてきた砂防事業が重要な要件となっています。

そこで、立山カルデラ砂防博物館では、4月から9月にかけて特別展「飛越地震から150年－大崩壊地立山カルデラと砂防施設群－」を開催し、立山カルデラと砂防事業について詳しく紹介します。

立山の魅力とともに、「もうひとつの立山」の持つ意味を今一度考える契機になればと思います。立山を訪れる際、ぜひ博物館にもお立ち寄りください。

TV / Radio Newspaper テレビ・ラジオ・新聞チェックガイド

県政番組のお知らせ

こんにちは富山県です 北日本放送テレビ

［毎週土曜］9:30〜9:45

4月 5日 （番組はお休みです）
　　12日 安政の飛越地震から150年①
　　19日 安政の飛越地震から150年②
　　26日 とやま発ヒット商品を全国へ発信

元気とやま情報チャンネル 富山テレビ

［毎週日曜］9:00〜9:25

4月 6日 （番組はお休みです）
　　13日 熱いぞ!とやまのプロスポーツ
　　20日 深層水の利用
　　27日 県の施設に出かけよう

富山メモラナイト チューリップテレビ

［毎週火曜］21:55〜21:58

県が取り組んでいる事業やイベントの内容などをわかりやすくタイムリーにお知らせします。

元気とやま情報スクエア FMとやま

［毎週月曜〜金曜］10:50〜10:55、(再)17:30〜17:35(最終金曜除く)
［毎月最終金曜］10:50〜11:00、(再)17:30〜17:40

※毎月最終金曜は「知事の県政ざっくばらん」として、知事が最新の話題について語ります（4月は4月4日の放送です）。

県からのお知らせ コミュニティFM各局

◎富山シティエフエム ◎ラジオたかおか ◎ラジオ・ミュー
◎エフエムとなみ ［毎週月曜朝、毎週金曜夕方］各2分半

新聞広報 県からのお知らせ

4月12日（土）、19日（土）、26日（土）の朝刊各紙に掲載予定
※19日（土）は、一部の朝刊には掲載しません。

富山県ホームページ

http://www.pref.toyama.jp/

NEW とやまmovieチャンネル

4月から新しい動画ホームページが始まります!

http://toyama-movie.jp
県政の動きや県の魅力をホームページから動画でご覧いただけます。

とやまのごっつぉ

［協力］舟橋村食生活改善推進協議会

FUNAHASHI

彩り大福 〜お花見のおともに、美味しいおやつ〜

鮮やかな緑はグリンピースあん。味はもちろん、彩りも楽しめるおやつです。皮は電子レンジを使えば、意外にカンタン!

この作り方を応用すれば、かぼちゃあん入りのいちご大福も手軽に作ることができます。また、さつまいもあん、枝豆あんを使うなど、中に入れるあんを工夫してみるのも楽しいですね。

●材料・分量（4人分）

［皮］	［あん］
白玉粉…75g	グリンピース…200g
砂糖…75g	砂糖…大さじ2
水…125cc	塩…少々
片栗粉…少々	桜の塩漬け…適宜

※枝豆、かぼちゃ、さつまいもなどのあんもこの分量を参考に

●作り方（グリンピース大福）1人分（2個）／約214kcal

①グリンピースは柔らかくゆで、ミキサーにかけてから裏ごしする。
②鍋に①、砂糖、塩を入れて火にかけ、水分がなくなるまで練り、あんを作る。
③皮の材料を耐熱容器に入れて軽く混ぜ、約2分電子レンジへ
④③を一度取り出して軽く混ぜ、さらに約1分電子レンジへ
⑤片栗粉を広げたバットに④を入れ、8等分にする。
⑥皮（ゴルフボール大）であん（梅干し大）を包み、桜の塩漬けを飾る。

ポイント

・ミキサーにかける時は、少しだけ水を加えて
・皮を作る時は、分量を正確に計って
・あんに入れる塩は、甘みを引き立てる隠し味！

県政クイズ

Quiz

○の中に言葉（ひらがな4文字）を入れてください。
ヒントは特集ページ（2P）にあります。

平成20年度県予算は、「元気とやまの創造」を加速する
「元気○○○○」の予算です。

●応募方法…はがきにクイズの答え、郵便番号、住所、氏名、年齢と本紙の感想を記載し、下記まで。
●宛先…〒930-8501（住所記入不要）県庁広報課「県広報とやま4月号クイズ係」
●締切…4月15日（火）（必着）

当選の発表は、プレゼントの発送をもってかえさせていただきます。

正解者の中から10名の方に、**近代美術館のミュージアムグッズをプレゼント**します。

収蔵品絵はがきと一筆箋（図柄の指定はできません。）

県政の動き

今後の予定

4/19 「男女共同参画」公開講演会（14:40〜 富山国際会議場）
20 とやまの森づくりサポートセンター 森づくりボランティア交流会（10:00〜 高岡市伏木地内）
5/17 県民のスポーツ大会合同総合開会式（10:00〜 富山市総合体育館）
23 とやま森の祭典（10:00〜 となみ夢の平スキー場）

最近の動き

1/14 教育タウンミーティング
15 知事のふれあい対話（高岡市、南砺市）（写真①）

①南砺市民病院では、病院・訪問看護ステーション職員、利用者などと対話した。

24 県行政改革推進会議
31 明日のとやま教育創造懇話会
2/ 8 県自殺対策推進協議会
9 越中とやま食の王国フェスタ2008〜冬の陣〜（〜10日）（写真②）

②高岡市の3会場に2日間で約9,000人が来場し、富山の冬の味覚を堪能した。

11 ノーレジ袋県民シンポジウム（高岡市）（2/23魚津市、3/2富山市、3/8砺波市でも開催）
12 道路特定財源諸税の暫定税率の維持を求める富山県緊急決起大会
12 県防災会議・原子力災害対策部会合同会議
12 元気とやまスポーツ大賞授与式
17 神奈川県・富山県知事懇談会
18 都市と地方の地域づくりシンポジウム（写真③）

③松沢神奈川県知事と石井知事が対談し、少子高齢化を迎える中での都市と地方の交流と連携による地域づくりを考えた。

18 医師確保対策懇談会
21 平成20年度県予算発表
22 県青少年健全育成審議会
22 活力とやま創造経済懇談会
22 地域公共交通の活性化方策に関する調査研究会
25 高波被害対策会議（写真④）

④2月24日に発生した富山湾沿岸の高波被害の状況が報告され、対策等が協議された。（写真は高波で破壊された防潮扉（入善町芦崎地区））

26 県医療対策協議会・医療審議会
27 2月定例県議会（〜3月24日）
3/ 5 県におけるレジ袋の削減推進に関する協定締結式
13 県女性相談センター新築工事安全祈願祭（起工式）
26 子育てミーティング IN 小矢部
27 県がん対策推進本部会議

どこ行く? 何する? お出かけ情報

富山県立近代美術館

富山市西中野1-16-12　TEL 076-421-7111
開館:9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館:月曜（4/28、5/5は開館）、祝日の翌日（4/30、5/7）
交通:富山駅（CiC横）から富山ミュージアムバス（城南ルート）で約10分（無料）
　富山駅から地鉄バス（5番乗場）乗車、「西中野口」下車、徒歩2分
http://www.pref.toyama.jp/branches/3042/3042.htm

一目でわかる!日本の美術 日展100年

福田平八郎「花の習作」
1961（昭和36）年 京都国立近代美術館蔵

文展創設から現代まで、日本画・洋画・彫刻・工芸・書の5部門にわたり、約170点に及ぶ各時代の代表作によって、日本の近・現代美術の系譜を紹介します。
※作品は前期・後期に分け、入れ替えて展示します。

●期間:前期 4月12日（土）～4月29日（祝）
　後期 5月 1日（木）～5月18日（日）
●料金:前・後期セット（2回観覧）券／一般1,200円、大学生1,000円［4/29まで販売］
　当日（1回観覧）券／一般1,000円（800円）、大学生800円（650円）
　前売（2回観覧）券／一般1,000円［4/11まで販売］
　小中高生無料 ※（　）内は20名以上の団体料金

〈会期中の行事〉 ※大学生以上は観覧券が必要です。
・作家が語る「日展100年」 毎週土曜、5／4、5／5　14:00～
　展示作品について、さまざまな分野の方に語っていただきます。
・学芸員によるギャラリートーク 毎週日曜（5／4をのぞく） 14:00～

エントランスを広く明るくリニューアルしました!

チケットカウンター

ミュージアムショップ

太閤山ランド ふるさとギャラリー

射水市黒河 県民公園太閤山ランド ふるさとパレス内　TEL 0766-56-6116
開館:10:00～17:00（入館は16:30まで）
　※5/3～5は18:00まで延長開館　　休館:火曜、祝日の翌日
入館料:無料 ※駐車場有料 普通車380円、大型車640円
交通:小杉駅南口から射水市コミュニティバスで約10分、「太閤山ランド前」下車、徒歩15分

びじゅつ探検 ― 家族でみようⅧ 色・イロ・いろ ～ 赤と黒～

親子で楽しむ美術鑑賞展。
近代美術館が収蔵するさまざまな美術作品の中から、今回は「赤」と「黒」の"色"に着目して作品を紹介します。

●期間:4月4日（金）～6月8日（日）

富山県水墨美術館

富山市五福777　TEL 076-431-3719
開館:9:30～17:00（入室は16:30まで）
休館:月曜（4/28、5/5は開館）、祝日の翌日（5/7）
交通:富山駅（CiC横）から富山ミュージアムバス（呉羽山ルート）で約6分（無料）
　市内電車大学前行「新富山」下車、徒歩約10分
http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm

日展100年 富山の作家たち

近代美術館において開催される「日展100年」展に合わせた関連企画。日展を舞台に活躍した富山県関係作家に焦点をあて、富山県の美術界に残した輝かしい業績を広く紹介します。

●期間:4月12日（土）～5月18日（日）
●料金:一般500円（400円）
　大学生400円（300円）
　前売り券400円（一般のみ）
　小中高生無料
　※（　）内は20名以上の団体料金

五島健三「瞑想」南砺市蔵

富山県中央植物園

富山市婦中町上轡田42　TEL 076-466-4187
開園:9:00～17:00（入園は16:30まで）　休園:木曜
料金:入園料／一般・大学生600円（480円）、小中高生無料
　※（　）内は20名以上の団体料金
交通:富山駅から地鉄バス（6番乗場）で約20分、「中央植物園口」下車、徒歩10分
http://www.bgtym.org/f-top.htm

企画展 桜の新品種「氷見久津呂菊桜」（サンライトホール）

氷見市で新たに確認された桜について、写真や標本などを使って詳しく紹介します。
●期間:4月4日（金）～30日（水）

講演会
新品種「久津呂菊桜」についての講演の後、花弁が100枚以上におよぶキクザクラ類を観察します。
●期間:4月29日（祝）13:30～15:30
　定員:50名

ソメイヨシノと夜桜鑑賞

満開日に合わせて無料開園。夜桜を鑑賞するため、開園時間も延長します。（ライトアップは18:00頃～）
●期間:4月上中旬（満開日の4日間）9:00～21:30（入園は21:00まで）

ドリアスコンサート

●期間:4月12日（土）15:00～16:00

ハンギングバスケットコンテスト

●期間:4月20日（日）～5月7日（水）

植物園オリエンテーリング

●期間:4月20日（日）10:00～11:00（当日受付）

第29回 春のラン展（サンライトホール）

●期間:5月3日（祝）～5日（祝）

日曜植物案内（毎月第1・2日曜） 13:30～14:30（当日受付）

富山県［立山博物館］

立山町芦峅寺93-1　TEL 076-481-1216
開館:9:30～17:00（入館は16:30まで）
休館:月曜（4/28、5/5は開館）、祝日の翌日（5/7）
料金:展示館（常設展示）／一般300円（240円）、大学生240円（150円）
　遙　望　館／一般100円（80円）、大学生80円（50円）
　まんだら遊苑／一般400円（320円）、大学生320円（200円）
　3施設セット券／一般650円、大学生400円
　小中高生無料　※（　）内は20名以上の団体料金
交通:北陸自動車道立山ICから約30分
http://www.pref.toyama.jp/branches/3043/home.htm

冬季閉苑していた「まんだら遊苑」が4月1日（火）から開苑します。

富山県こどもみらい館

射水市黒河 県民公園太閤山ランド内　TEL 0766-56-9000
開館:9:00～17:00
　※5/3～6は18:00まで延長開館　　休館:火曜、祝日の翌日
入館料:無料 ※駐車場有料 普通車380円、大型車640円
交通:小杉駅南口から射水市コミュニティバスで約10分、「太閤山ランド前」下車、徒歩15分

日本のおもちゃデザイナー「全国個人玩具作家展Ⅲ」

日本各地の玩具作家が手がけた代表的な玩具を展示します。
●期間:4月12日（土）～7月6日（日）
●場所:2階ギャラリースペース

みんなでつくろう びっくりこいのぼり

鯉の形をした骨組み（直径約2m、全長約20m）に、子どもたちが自分で作った紙のうろこを貼って巨大なこいのぼりを完成させます。
●期間:4月19日（土）～5月11日（日）
●場所:プレイホール
●参加費:無料

平面から立体へ 「カラフルボックス」「サプライズハット」「バラエティーモビール」

表裏で色の違う画用紙を切って立体にし、箱や帽子、つり飾りなどを作ります。
●期間:4月19日（土）～6月1日（日）
●場所:造形エリア
　（工房、ワークショップホール、クラフトコーナー）
●参加費:カラフルボックス　100円
　サプライズハット　300円
　バラエティーモビール　200円

優待券
とやま子育て応援団

毎月第3日曜日から始まる1週間を中心に、子ども（18歳未満）連れで協賛店を利用した場合、この優待券または優待カード、携帯画面の提示により、優待サービスを受けられます。
詳しくは、http:/kosodate.derideri.jp/